

【特集】お寺のおじいちゃん先生
「続けるのが使命。子どもが来てくれる限りね」

福井が好きだから「伝えたい・残したい」、福井の宝もの。

No.20
2016

学 校 日 曜 組 人

SOCIAL
PAPER
KUMIBITO

手を合わせ、目を閉じて、
心と向き合う時間。

仏の教え いただき ます。



日曜学校とは！

子どもたちに、「仏さまの教えによる豊かな情操と道徳心を育んでもらいたい、正直な良い子になつて欲しい」という願いのもと、福井県越前市にある「法雲寺」「了慶寺」「妙順寺」の3つのお寺では、日曜学校を開講している。

子どもたちはまず、きちんと正座でおつとめをして、讃仏歌を歌い、住職から仏さまのお話を聞く。少し休憩したあとは、国語の勉強や絵手紙を描いたり、みんなで輪になつてハンカチ落としやボール遊びをしたりと、自由に遊ぶ時間もある。妙順寺の林英紹前住職は「学校だと同じ学年でしか遊ばない。でも日曜学校では、勉強でも遊びでも、小学校1年生やその下の幼稚園の子から、6年生のおにいちゃんおねえちゃんも、3・4年生のやんちや坊もみんなが一緒に遊んでやる、そういう所が素晴らしいんです」。



子どもの成長と共に 100周年。

大正6年に開校した小桜日曜学校は今春、100期生を迎える。今の子どもたちの曾祖父母が子どもだった時と同じように、子どもたちは阿弥陀様の前で合掌し、お経を唱える。坊守の咲子さんは「中にはやんちゃな子もいる。でもそんな子たちがいろんな面で成長して、立派に育っていくのが見える。それが楽しみなんです。」



「いただきます」の心を学ぶ。

王子日曜学校では、ことわざ・短歌・俳句を使った国語の勉強のほか、藤枝住職監修のオリジナルかるたやDVDが教材。「『いただきます』の精神、この事ひとつを教えるだけでも日曜学校の意味がある」と藤枝住職。子どもたちは合掌して「『いただきます』」と了慶寺の手焼き煎餅をほおばる。



卒業しても、また来たい。

日曜の朝、お寺から流れる仏教讃歌を合図に、近所の子どもたちが梵鐘を大きく鳴らす。鐘の音を聞いた地域の子どもたちは、次々とお御堂に集まり、姿勢を正す。開校日は子どもたちが自ら決め、お寺の行事「初産式」なども日曜学校の子どもたちが主催する。「リーダーシップ」や「自主性」の成長は日曜学校の賜物。



教えを伝え、 人々の想いを語り継ぐ

つなぐ、つながる子どもとお寺



法雲寺 真宗出雲路派
〒915-0032
福井県越前市桧尾谷町4-4
TEL(0778)27-1342

住 職 柴田和信
前住職 柴田英俊
坊 守 柴田咲子

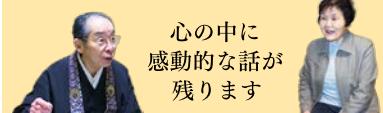
子どもの頃
からお寺で
一緒に活動
ができる



了慶寺 真宗出雲路派
〒915-0083
福井県越前市押田2丁目8-31
TEL(0778)22-1254

住 職 藤枝宏壽
坊 守 藤枝正子

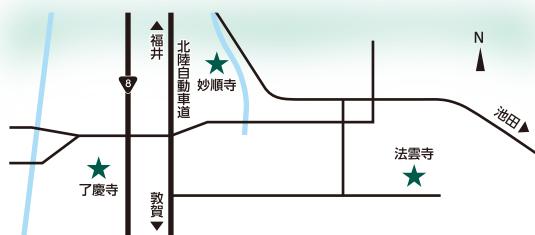
心の中に
感動的な話が
残ります



妙順寺 浄土真宗本願寺派
〒915-0001
福井県越前市中新庄町47-23
TEL(0778)23-0772

住 職 林賢紹
前住職 林英紹
坊 守 林寿満子

子どもの頃
からの
経験が大事



取材……宮本 隆行 Art Director …三嶋 良晴
撮影……高橋 正勝 写真提供 …法雲寺・了慶寺・妙順寺
組人についてのお問い合わせ・バックナンバーは
発行元 大一印刷株式会社
〒910-2142 福井県福井市前波町17-6-1
TEL.0776-41-3741 FAX.0776-41-2442
<http://bigone-p.com/kumibito/>
企画制作・編集
コミュニティサポート5〇プロジェクト

